



みんなの想いが形になって
最高のファッションショーでした！

・Twinkle このショーが成功した一番の理由は、伊藤さんのクラスメイトに耳を傾ける優しさと、常峰さんの人の気持ちを一番に考える優しさが一緒になって頑張ってくれたからだと思います。つらい思いもたくさんあったと思うけど、伊藤さんと常峰さんと良かったと、心の底から思います。



足がガクガクしてとても緊張していた時クラスの子が「今までやってきたことを思い出して、笑顔で楽しも！」と背中をたたいてくれました。それがとてもうれしかった。

2年生の照明や音響、ダンス部、生徒会や放送部、そして見てくださった多くの方に感謝の気持ちでいっぱいです。

クラスみんな、先生
ありがとうございました。



ウォーキング練習からパワーポイント・背景画像やチラシの制作など、たった1回のためにやるべきことは膨大でした。自分のイメージがうまく服で表現されているか、シーンとしてどうかと一人で決めるのは難しく、だからこそ周りに相談することの大切さを実感しました。また、コミュニケーション力や情報や気持ちの伝え方も大切だと感じました。自分のことに精一杯だったはずなのに、クラスのために動いてくれた責任感の強い友達に感謝の気持ちでいっぱいです。これからの学校生活や進路でも、今回学んだことを最大限に活かしていきたいです。

布地開発の班長を任せられ、どうしても班の意見がまとまるのだろうと心身ともにしんどくなったこともありましたが、一人で悩むこともありましたが、「助けてほしい」と言うとき必ず助けてくれ、相談に乗ってくれる友達、家族がいることに改めて気づくことができました。そんな苦労して作り上げた布を使った衣装をみんなに見てもらった時、「めっちゃかわかった」「すごいな」と大勢の人が言ってくれました。私がステージに出てきた時、涙が出てきたと言ってくれた友達もいました。舞台上に立った時名前を呼んでくれた友達の声聞いて、「この子がいるから私も頑張れた」と私自身涙が出そうになりました。



私がこの文化祭で強く感じたことは「感謝の気持ち」です。この学科に入学してきて、身の回りに生地がたくさんあって、ミシンも一人1台あって相談できる仲間がいて、「これが当たり前」と慣れつつありました。でも、考えてみると生地なんて買えばとても高いミシンも機能性のいいものばかりだし、当たり前ではないことに囲まれていました。先生方が言われる「感謝の気持ちを大切に」とはこういうことかと思いました。



3年生宮脇君…自分の進路を見据えて、1年前から被服室に通うようになりました。本当にファッションが好きで、コツコツと製作に取り組んでいました。じっくり指導できず、「もっと早く教えてあげたら…」でも、素直に「あっそうか！勉強になります。」と謙虚な態度。最後のデジタルアンのシーンでは、メンバーのアイマスクを作ってくれました。もしもの場合を考えて、予備も…助かりました！





・最初はみんなバラバラで、私たちに文化祭という舞台上でファッションショーができるのか不安にも感じました。しかし、そんな私たちを見捨てず様々なアドバイスをして下さった先生方。バラバラだった私たちが、今まで先輩方が積み上げられてきた伝統を、さらに良いものにならなければならないという思いで、私たちが一つになりました。しかし、連絡・報告・相談というとても大切なことができず、共有しなければいけない情報が、共有できず、時間がない中で急な変更が絶えず、とても迷惑をかけてしまいました。

2年生とのコミュニケーションも不十分で、自分たちだけで進め、2年生にはさっぱり分からない状況を作ってしまった。本当に申し訳なかったです。

・リハーサルから本番まで、舞台袖で私たちの着替えの手伝いをしてくれたダンス部の2年生、音響や照明をしてくれた2年生など、後輩たちの頑張りが今回のショーを成り立たせていたことに感謝の気持ちでいっぱいです。必死でうちわで扇いでくれたり、靴の脱ぎ着まで手伝ってくれたり、中には絆創膏や安全ピンを用意してくれている人もいたようで、気が利きすぎて驚きました。「きっとこの子たちなら素敵なファッションショーを創り上げるだろうな」と期待することができました。



今後の予定

- 7月25日(月)～27日(水) 東京研修
- 8月28日(日) 西脇市 織物まつりファッションショー
- 9月8日(木)・9日(金) 国際フロンティア産業メッセ2016 SPH発表
- 9月11日(日)～16日(金) パリ研修
- 11月5日(土) 全国産業フェア SPH発表
- 11月19日(土) たつの市 皮革まつり播州織ファッションショー
- 11月20日(日) 兵庫県高等学校総合文化祭ファッションショー



<2年生>

・自分のことで精一杯のはずなのに、友達の着替えのことを考えておられたり、2年生を気遣って下さったりと周りがしっかりと見えていて、私も一年後には、こうなりたいと思いました。

・ダンスチームの先輩はファッションショーの準備で寝ていない人もたくさんいるはずなのに、練習に来られるとそんな素振りは一切見せないでニコニコ笑って私たちに接してくださいました。本当に強くてカッコイイと思いました。

・ファッションショーは本当に感動し、先輩たちの思いなどが伝わってきました。コンテストでウェディングドレスのデザインをしたけど、難しく、うまく描けませんでした。先輩のデザインや発想力はすごかったです。



連絡

- 8月8日(月)・9日(火)・10日(水) インターンシップ
- *希望者は、藤原まで
- 島田織布・丸萬・遠孫織布・青いとり・播州織工房館